

R18

戦車道の裏道

黒森峰女学園

AERODOG





厳しかった隊長に
変化が訪れたのは
いつからだったか…

西住隊長は
変わってしまった



隊長…!!



隊長…っ

隊長…っ



ヒーヤッ

たのじもよか…

たろん



西住隊長お……っ♡

しゅわん♡

しゅわん♡

戦車道控室

隊長……っ

えんじゅ♡

しゅわん

しゅわん

しゅわん

しゅわん

もっと
キツくして下ろさ……っ

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

……っ

はっ♡

しゅわん

しゅわん

しゅわん

しゅわん



隊長の…黒森峰のため
だったら何でもやる
つもり…だけど

も…と…お…し…う…!!

あれにどんな
意味があるの…?

隊長は何を
考えているの…?



も…と…



全部っ!!

それもこれも
全部…全部っ



今まで通り
厳しいのに
訓練だけで

え…っ!?

気持ちいい？
エリカちゃん

寺町のが
好きなんだな

みほお…!

なんでアンタまで
ちらつくのよ…っ





隊長……っ

西住隊長おっっ！

隊長……っ

エリカ
まだ居たのか



うわっ……



え…!?

帰ったはずじゃあ!?

西住隊長…!?

その…!

……



邪魔をした
ようだな

まっ…



待って下さるっ!

西住隊長ちよ…っ!!





脳味噌が
追いつかない…っ！

なにこれ何もかも
急すぎよ…！

とにかく何か…
何か言わないと！



その日
西住流本家の敷居を
初めて跨いだ

その時見た光景
経験はきつと忘れない



あの…っ！

エリカ…今から
時間あるか？

きつと忘れられない



ん……んぞ

まほ様……
いいんですか？

ん？



カキ

クキ

西住流の房中術を
ご友人に見せるなんて……

かまわない

不慮の事故とはいえ…
見られたくないものを
見てしまったんだ

ん…

エリカとは
負い目の無いよう
対等でありたい

エリカも近くで
見てみるか？

下男なんだが
彼のは大きいぞ

しゃい
しゃい

ハイじゃないでしょ
わたしいらっ!!

ヒキ
ヒキ
ヒキ

昂ぶります

男の人のって
こんなにお
つきいの…

ご友人…エリカ様
にも見られているから
でしょうか…

今剥いてやる
からな

なんだ
いつもより遅しく
なっていないか？

えっ!?



まほ様の
熱い体温…

直に感じますっ！



んも……っ

啜えたーっ!!!



素晴らしい
お手並みですっ
…まほ様っ！

はっ

はあ…どうだ？

まほ



れ
れ

れ

れ
れ
れ
れ



んっ

んっ

んっ

んっ

今日は一段と…
激しいですねっ

そんなに激しく
吸い付かれては…!

すっ…

これが西住流…!!

大の男を…完全に
手玉に取ってる

もうっ…
射精ますっ!

まほ様のお口に
吐精しますよ…!



くおおおっ！

うおおおおっ！

まほ様あ……！



なっー!?

え……



すいっ……

精液を直に……

ガッ……

すいすい……

やはりまほ様も……

きゅわわわわっ

いつにも増して
締め付けてきますよ！

んうっ

調子に乗るな……っ

隊長が……!?

はま

んっ

エリカ様に
見られて興奮して
おられますね！

っ

んっ

ですがこの具合……
今までにありませんよ！

だまれ……っ

無礼を
すまないな……っ

エリカ……っ

いいえ……っ

妄想なんかと
比べられない……

あゝ♡

西住隊長の…
快楽に歪む表情

んあゝ♡

はゝ♡

なんて…心を
驚掴みにするの！

まほ様の
おまんこも
喜んでますよ！

エリカ様に
淫らな姿を
見られて！

それ以上…
言うな！♡

エリカ様もっと
見てやってください

西住隊長…♡

西住隊長お…♡

見てください！
これが…西住流戦車道
家元の長女！

見るな…っ

やめっ

エ…エリカあ…っ！

ヒィン

だめ…っ

ニシマ

お嬢様

黒森峰女学園
戦車道隊長！

西住まほ様の
真の姿でございますっ！！

もう…！

んあ…っ！

あーっ
あーっ
あーっ



エリカ…

すみません…私
隊長で粗相を…

構わない
その…



すみません…



見られるのも…
悪くはなかった…

よかったら
エリカ様もいかが
ですか？



隊長が私個人を
労うなんて…

ですが…



その…!!
私初めては…

そういう事なら
問題ない

え…？



だがな…
息抜きは大事だぞ

エリカは誰よりも
頑張っているから
なおさらだ



汚いですからあつ!!

んうっ

んうっ

んうっ

んうっ

んうっ

んうっ

どうだ?

気持ちいいか?

そこは
ダメです!

西住隊長
やっぱダメです!!

んうっ

んうっ



隊長の舌が...

私の中うねって...

気にすることは
ない...んうっ

い...今なんてっ!?

ひあ!

みほにもよく
してやったからな...



奥はじめるぞ...

奥は...
だめえっ♡

あっ♡

あっ♡

おしりの穴
おかしくなるう...っ!!



ほぐしたとはいえ...
これは入りませうかね?

エリカなら
大丈夫だ

キツいのが
好きだからな

無理ムリムリッ!!

ムリムリッ!!

ムリムリムリムリ



苦しむってばあつ!

あつ

くろし...っ

大丈夫です!

いったん抜いてえ!

いい具合ですよ
エリカさま!

気の強い子は...
アナルが弱いらしい
ですから!

あ!!

あ!!



エリカ様なら
すぐ気に入りますよ!

あ
あ
あ

なんなのよ
これえっつ！

もう馴染んで
きた……！

これは普段から
弄ってますね！

そんなわけえ……！

男性器で……
おしりでなんてえ！

楽しんでるか？
エリカ

西住隊長っ

見ないで
ください……！

これからは指や
おもちゃじゃもう
満足できませんよ！

俺のちんぽを
貸します！

エリカ様の尻穴は
名器ですよ……！

っさいわよお！

素直に
なってください
エリカさま……!

西住隊長おろ

エリカはどうして
欲しいんだ?

ドゥドゥ

もつと……もつと
お尻の奥ほじって……!!

ち……ちんぽでイかせて!
おねがいします! ♡

わたし……

わたし……

わたしはあ……っ



あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

んんん

あーっ
あーっ
あーっ

んんん



射精しますよ！

エリカ様の
アナルの奥にい！

いっ
いっ



エリカ様！

あーっ

あーっ

エリカ様……！



素敵ですよ...

しゅがーん

エリカ様♥

西住隊長おっつ!!

ウチの下男が
すまないな

えっ!?

あとで躰けておくから
許してやってくれ



ちがうんです...
優しくしないで
ください...っ

もっと厳しく躰けて...
じゃないと私...

私は...っ

厳しいだけじゃ
みほには...大洗には
勝てないぞ

...言っただろ?
エリカは頑張ってる



んう

ん…っ

は…っ



んう…っ!

隊長…その

お願いが
あります!



変わるんだエリカ

黒森峰は変わる



私も変わって
みせる

西住隊長…!



あの今だけは…

甘えさせてください…



手淫



大丈夫か…？

は…は…っ



舌出して…

あ…っ

んう…っ♡

ん…っ♡

はあ…ん♡

んう♡

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ



きつとこういう事にも
意味があるんだ

たーやのさ...

おニんぎや

おニんぎや

おニんぎや

おニんぎや

おニんぎや

はー♡

はー♡

はー♡



はー♡



西住隊長は

ていなんにや、こも
おぼこはごなんぞ

おニんぎや

おニんぎや

いつだって私を
導いてくれた



もう迷わない

おニんぎや

おニんぎや

おニんぎや

おニんぎや

おニんぎや

おニんぎや

おニんぎや



私は...

この人に
付いていくんだ...!!



まほ隊長...っ!!

んっ...っ...っ...っ

あっ

合わせるぞ...!!

エリカ...

はっ



ありがとうございますっ♡
まほ隊長…っ♡

まっとうにっ♡おまっまっ…

うん…





素晴らしいです!!

お二人とも!

ヤッ



やはり女性同士の
営みは最高です...!!

拝見して
私めのイチモツも
先程以上につ...!!



あのまほ様がみほ様
以外にこんなにも心を
開くとは...!!

あの朗らかな表情
まるで聖母でしたよ!



エリカ様も心の夜叉が
すっかり抜け落ちてまるで
天女のようにです!

是非そのお顔をみほ様
にも向けて下さいませ!



調子に乗るなど
言った筈だ...

今すぐ調教が
必要なようだな

犬め...

誰が夜叉よ!

アンタのその汚らわしい
モノへし折ってやるわ!



それからはずっと
セックスをした

初めてのフェラチオは
その生臭い匂いに嫌悪した



まじで犬めだ

ズキ

ズキ

ズキ

ズキ

ガマンがきい

ズキ

しん... ぐわん...
しん... ぐわん...

こんなたはせ...
もしなははんさん
は... ぐわん...
は... ぐわん...

ズキ

ズキ

ズキ



西住隊長と同じ
モノを口にしてると
思うとそれだけで
嬉しくて

カッゼーおす...

出したばか
で...!!

また出した...
また出した...
また出した...



ひも...

あ...

射精...!!

射精...!!

射精するたび
自分から嘔るよう
になった

また射精...!!

ん...



また出した...
また出した...
また出した...

あ...



道具を使って西住隊長と繋がりたりもした



そのまま二人にイカされて

中出しされた時は子宮が精液で満たされた多幸感で絶頂した



その時は嬉しすぎて

犬の交尾のように夢中になって腰を振ってた

西住隊長のあんな嬌声は初めて聞いたかもしれない

何もかもが刺激的だった

初めて戦車に乗った
あの感じに似てるかも

まだたつのがHIS
「タイイチイェ」

西住隊長はコレを
思い出して欲しかったんだ

あああ〜





仕方ないヤツだ♥

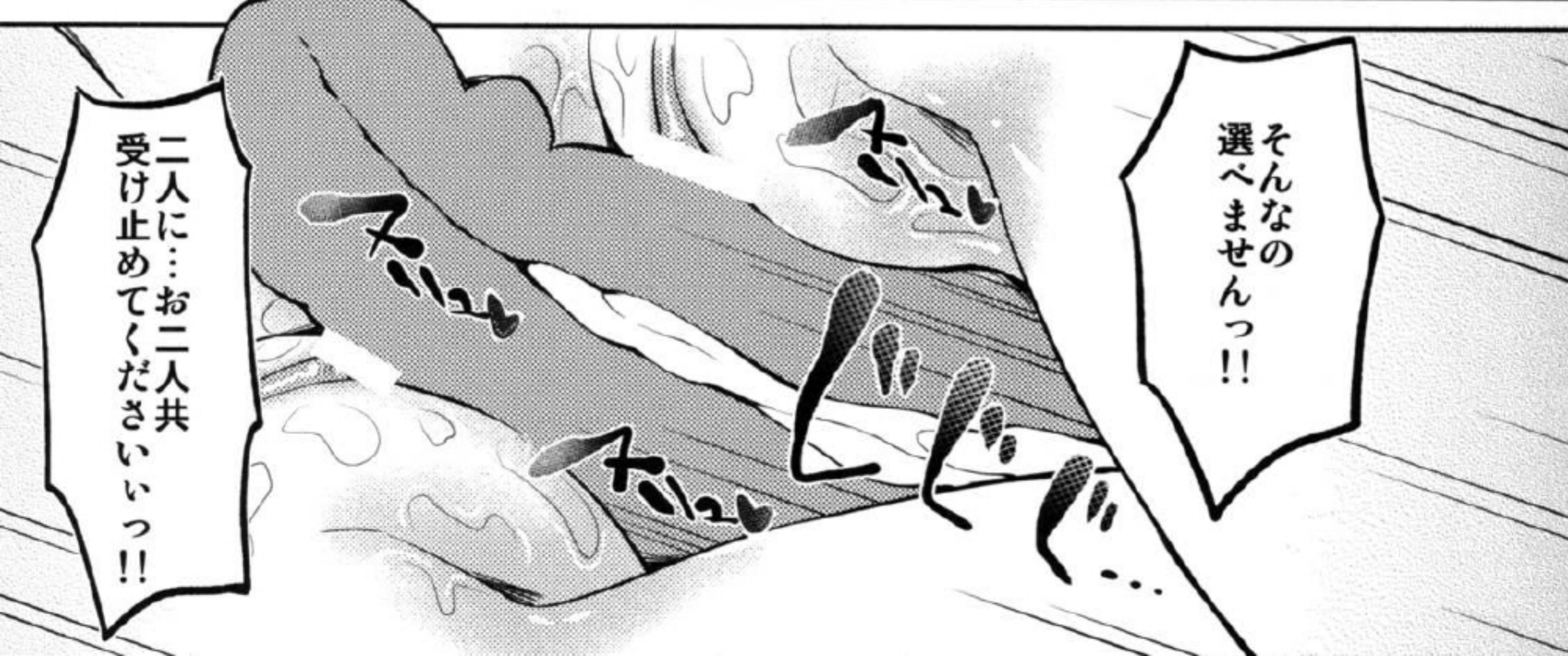
楽しいです…
西住隊長！

射精したいなら
いつでも射精して
いいんだぞ♥

どっちに
射精したいんだ？♥

どうしようもない
ヘンタイちゃんぽね！♥

扱いてあげるから
好きな方に精液
ぶち撒きなさいよ♥



そんなの
選べませんっ！！

二人に…お二人共
受け止めてくださいっ！！



ご苦労様…
下がっていいぞ

は…はひ…

エリカ
お風呂に行こうか

はい…そのっ
お疲れ様でした!

エリカ

はい！

今度みほが
帰ってくるんだ

よかったら
ウチに来るか？

で…ですが！

いつか…私が
変わったら…
その時は！

私は…
あの子とは…

そうか

そうだな…

その時は
よろしく頼む

ハイッ！

■戦車道の裏道 黒森峰女学園

発行日:2017/05/07

ぱんつあー☆ふおー1 1

発行者AERODOG(inu)

印刷:ねこのしっぽ

連絡:aerodog623@gmail.com

最終章で3年生はどう絡むのか...続報ください